

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス KAFUU		公表日		令和7年5月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	4	・児童の数に対して少し狭いように感じます。	・室内と外活動の児童を分けることができます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・一日に休める職員数を決めていて良い。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	4	・事務所や窓の施錠が可能です。	・トイレはもう一つあると良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	4	・毎日、送迎終了後に消毒・清掃を行います。	・体を動かしたい児童と静かに過ごしたい児童や手先を使っている児童が一緒になっているので空間が分けられるといいと思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	・落ち着かない児童は事務所や別室で過ごすことが出来ます。	・日ごろの清掃はできますが倉庫や相談室の整理整頓がもっと必要です。利用児童来所前の時間に定期的に清掃したいです。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	3	・朝のミーティング以外でより細かく目標設定と振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・朝のミーティングで前日の振り返り、改善点を共有しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	・掲示板に様々な研修等を掲示しております。職員間で声をかけあい、参加の申し込みや促しを行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1		・より具体的にプログラムを作成していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	2		・さらに共通理解を深めていく必要があります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	3		・全体に共有されていない内容もあります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	4	・強度行動障害の研修を全職員が受講しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	・1人で負担する事がないように、活動内容を立案するチームを作っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	・日々、活動内容や活動場所を変えて、連続して同じ活動が重ならないように工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	2	・短時間でもできる集団活動を積極的に取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・朝のミーティングでその日の活動場所や支援内容を共有し、意見交換を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	・終了後には行えていませんが、翌日の朝のミーティングで共有しています。	・終了後に行えていないが、翌日の朝に全職員で振り返りをしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・記録のリーダーを決め、声かけ等により、全体で取り決めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・モニタリングの情報も共有すべきところは共有できています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	11	2		・職員間でもっとガイドラインを把握する必要があります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1	・関係機関で連絡先を交換しています。 ・無理やり活動させることのないように全体の共通認識を高めています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	・必要な児童に関しては、学校の先生（交流学級・少人数）のグループラインを作り、情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	・登校の有無について必要な児童に対して、情報共有を行っています。 ・定期的な連絡を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	1	・全体に周知すべき内容は引き継いで共有出来ています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	3		・まだ移行した児童がいないが、今後出てきた場合には情報共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	2	・研修のお知らせが事務所に毎回掲示されています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	3	・事業所内のイベントにより地域の児童との交流ができています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	4		・児童指導員などの管理者以外の職員もより積極的な参加が必要です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	・帰りの送迎時や保護者とのLINEで情報を伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	3	・ペアレントトレーニングなどの研修は掲示板に掲載され、積極的に参加できる機会が設けられています。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	・モニタリングや必要に応じて個別の会議等を開いています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	2	・管理者が行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・必要に応じて個別の会議等を開いています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	4		・今後積極的に実施していく必要があります。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	3	・行事予定を保護者LINEにて周知しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・児童の活動写真を撮影する許可を、契約の際に確認しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・文章や文字での理解が難しい児童、保護者に対しては、音声、通話により情報を伝達しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3		・今後は事業運営を図っていくべきです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	5		・訓練計画をもとに、さらに積極的に実施していくべきです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	6		・訓練計画をもとに、さらに積極的に実施していくべきです。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	1		・朝のミーティングや、LINEグループ内で事前に情報共有をしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	5		・計画をもとに、さらに積極的に実施していくべきです。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	4		・安全計画をもとに、もつとご家族等に周知が必要です。（契約時のみではなく）
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1		・より具体的に考え、共有していきます。 ・朝礼で情報の共有はしているが、状況の記録や再発防止について改善策をすべて記録しておくといいたいと思います
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	3	・掲示板により、積極的な研修への参加の機会があります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	3		・今後、全体で話し合う必要があります。	